



本村幼稚園 1月の園だより

令和2年1月8日

港区立本村幼稚園長

山村 登洋

「子年」を子供たちの成長につなげる

園長 山村 登洋

新年あけましておめでとうございます。令和2年の幕開けです。本年もよろしくお願ひいたします。新年を迎える時の清々しい気持ちは、いくつになってもいいものです。私も子供の頃は「あけましておめでとうございます」のあいさつやおせち料理、お年玉、初詣など、お正月という特別な日をワクワクしながら楽しんで過ごしていたことを思い出します。

今年の干支は「ねずみ」です。漢字では、「子」と書きますが、もともとは「ねずみ」ではなく、「子供」を表す意味だそうです。ねずみ算という言葉の通りねずみは子供をたくさん産むことから繁栄の象徴とされ、ねずみ年は世の中が活気づくとも言われています。



特に今年のねずみ年は「庚子(かのえね)」であり、新しい生命が種子の中に芽生え始まる状態を表します。本村幼稚園の子供たちもそのように、この1年間が大いに盛り上がり、子供一人一人がさらに新しいことにチャレンジし、より成長していく年になることを願っております。そして、東京オリンピック・パラリンピックが開催される年でもあります。令和2年度のはと組(現りす組)の子供たちはパラリンピックの観戦が決まっています。何の種目かが楽しみです。どんな感動を巻き起こしてくれるのか今から待ち遠しいです。



まとめの学期、3学期も本日よりスタートしました。職員一同全力投球で子供たちのよりよい成長を目指してまいります。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

最後にドロシー・ロー・ノルト著の「子どもが育つ魔法の言葉」から大切にしたい言葉を一部記載させていただきます。



- けなされて育てると、子どもは人をけなすようになる
- 不安な気持ちで育てると、子どもは不安になる
- 子どもを馬鹿にすると、引っ込み思案な子になる
- 励ましてあげれば、子どもは自信をもつようになる
- 誉めてあげれば、子どもは明るい子になる
- 愛してあげれば、子どもは愛することを学ぶ
- 子どもに公平であれば、子どもは正義感のある子に育つ
- 親が正直であれば、子どもは正直であることの大切さを知る
- 認めてあげれば、子どもは自分が好きになる

いかがでしたか？